

ラボメンたちの

「シュタインズ・ゲート」のさまざまな「フィー」のストーリーを収録した、ファン待望の最新作。ラボメンたちのすべての物語を体験し終えたあとに、プレイヤーがたどり着く世界線とは……。

Steins;Gate

線形拘束のフェノグラム

いよいよ発売！ 各シナリオの魅力に迫る！！

偶然にもタイムマシンを発明した主人公・岡部倫太郎が、数奇な運命に巻き込まれていく「シュタインズ・ゲート」。ついに発売された最新作「線形拘束のフェノグラム」の魅力に、プレイインプレッションと連載企画で迫る。

PS3 AVG 発売中

STEINS;GATE 線形拘束のフェノグラム

●5pb.
●¥7,140(税込)、数量限定版¥11,550(税込)

ゲーム以外でも紡がれる、新たな世界線

各メディアでさらなる広がりを見せる「シュタインズ・ゲート」の世界。こちらもチェックしよう。

Movie

【映画】

本編トゥルーエンド後の物語を描く劇場版

本編の“その後”の世界を描く完全新作。収束したはずの世界で再び起きる事件と、それに立ち向かう紅莉栖。そして、物語は誰も見たことのない結末へ収束する――。



Steins;Gate
負荷領域のデジャヴ

Novel 小説

シリーズ完結となる第3巻が6月28日発売

『比翼恋理のだーりん』のシナリオを手掛けた、たきもとまさし氏による小説。結末のカギは、新キャラの椎名かがりが握っている!?



◀まゆりの養女であり、鈴羽と過去に結び消息不明となった彼女が示す結末とは。

「STEINS;GATE 無限遠点のアルタイル」
初回限定版¥4,200 通常版¥1,000

【舞台】

観客の選択で物語が分岐する新機軸の舞台が10月上演

ゲームをモチーフに、公式メールマガジン登録者が上演内容を選択するという、演劇初の試みを取り入れる舞台。お台場で紡がれる新たな世界線を目撃しよう。

LIVING ADV「STEINS;GATE(シュタインズ・ゲート)」
2013年10月12日(土)～20日(日)(チケット一般前売:7月28日(日)より)

角川シネマ新宿 シネマツインシャイ
ン池袋ほか全国で大スクリーン上映中(※)

※デジタルパンフレット付き公式アプリも好評発売中！ 詳細は公式HPへ <http://steinsgate-movie.jp/>

秘められた想いが、今、明かされる

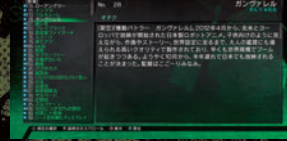
PLAY IMPRESSION

元から存在していたかのような 新たな可能性の数々

さまざまなライターさんがシナリオを手掛けている本作ですが、どの作家さんも本編のファンというだけあり違和感はまったくありませんでした。各シナリオは本編の第1章よりもやや短いぐらいの分量で、短編としてちょうどいいボリューム。どれも本編をクリアしていることが前提のシナリオになっていますが、そ

のぶん、世界観の深い部分まで切り込んだ内容になっています。ラボメンそれぞれの目線で描かれるので、天才的な頭脳を持った紅莉栖や敵のスパイであった萌都が何を考えているのか、頭の中がのぞけたのも新鮮でした。システムは本編でおなじみの「フォントリガー」や「TIPS」を搭載。「フォントリガー」でのメールのやり取りは、各主人公の性格がよく表れていておもしろいです。とくに、るかのことを男だと知ったときの天王寺のリアクションなどは必見です（笑）。

TIPS LIST



◀科学アドベンチャーシリーズおなじみの膨大なTIPSを読むだけでも楽しい。また「フォントリガー」の選択も豊富です。

本作をプレイすることで本編の裏側への理解も深まるので、また本編をプレイしたくなりました！（カワチ）

走査線上の ジギル

岡部倫太郎
Dr. Jekyll on lines

バスジャックにあったフェイスとまゆりを正義のヒーロー・アルパカマンが救出するという衝撃の展開からはじまるシナリオです。アルパカマンのビジュアルもインパクト大ですが、“なぜ岡部がアルパカマンになったのか？”という部分にきっとみなさん驚かれるのでは……と思います。

絢爛仮想の ファムファタール

橋田至
Bird Singing in Cages

あのダルが主人公だけあり、口に出すセリフもモノローグも自重ナシです（笑）。シナリオも彼らしい題材で、ネットの掲示板を使って事件の真相に迫る……というもの。推理小説のようにドキドキしながら楽しめました。そして、物語終盤に活躍するあのキャラクターの見せ場にも注目です！

黄昏色の ソーテール

牧瀬紅莉栖
Aurora in Soccer

まゆりを救うためにタイムリープを繰り返していた岡部。そんな彼の裏で、紅莉栖がどのように行動していたのかわかるシナリオです。紅莉栖とフェイスという、本編にはなかったキャラクターの組み合わせが見どころですね。また、娘と父の会話にも胸を打つものがありました。

迷宮錯綜の ヘルマフロディトス

漆原るか
Hermaphroditus in Labyrinth

本編のルカートを題材にしたシナリオです。るかの内面を映し出すモノローグが画面全体にかかる、ビジュアルノベル形式なのが特徴ですね。まゆりとの約束を果たすためにタイムリープしたるかが紅莉栖の力を借りていたことなど、意外な事実も判明します。ひねりのある結末も見事！



全シナリオ
プレイインプレッション

STEINS;GATE
線形拘束のフェノグラム

悠遠不変の ポラリス

椎名まゆり
Polaris Regans

自分を救うために紅莉栖が犠牲になろうとしていることをまゆりが知ってしまうシナリオ。いつもはポヤーンとしているまゆりですが、じつは芯の強いところが垣間見れます。また、岡部との会話で見せるまゆりの覚悟は、守られる立場として描かれてきた彼女とは一線を画すので必見です。

昏睡励起の クアンタム

桐生萌都
Quantum excited in Coma

ラウンダーとして未来ガジェット研究所への潜入・監視を命じられた萌都の葛藤が描かれます。本編ではほぼ岡部としか絡まなかった彼女ですが、この物語では紅莉栖やまゆりとの交流が新鮮です。また萌都に届くFBからの指令メールの文面も見れ、そのイヤ〜な性格が明らかになります。

幽霊障害の ランデヴー

阿万音鈴羽
Ghosting Rendezvous

タイムマシンが壊れて落ち込む鈴羽のもとに、軍人姿の鈴羽とメイド姿の鈴羽が現れるという驚きのシナリオ。本編では謎の多かった鈴羽ですが、このシナリオでは父親であるダルや、憎むべき対象であった紅莉栖との交流も深く描かれており、彼女の内面がよくわかる内容になっています。

雨鈴鈴曲の スクレイパー

天王寺裕吾
A Strange Building Fills My Love

唯一ラボメンではない天王寺のシナリオ。コメディ寄りの内容でほぼ全員に見せ場があるため、とてもにぎやかな話になっています。とくに女性キャラクターたちに純粋な母親役を試させるシーンは、それぞれの性格が垣間見えておもしろいです。そのうえ、最後にはホロリとくる展開も。

桃色幻都の シヤ・ノワール

フェイス・ニャンニャン
Super hero Chan chan

フェイスと鈴羽がまゆり特製のセクシーコスチュームに身を包み、秋葉原の都市伝説を探っていくシナリオです。秋葉原の地主の娘として汚い大人たちを見てきたフェイスが、鈴羽との交流によってどう変わっていくのかがポイント。いい見せ場を作る天王寺の存在にも注目です！

三世因果の アブダクション

岡部倫太郎
Three Contrapasso About The Abduction

まゆりの行方不明事件をきっかけに、岡部がさまざまな世界線を飛び回るシナリオです。完全オリジナルな世界線なので先の展開が読めずハラハラさせてくれます。物語の展開がパズルのように入り組んでいるので、今とこの世界線か、メモを取りながらプレイしたほうがいいのかも知れません。

未来ガジェット研究所 メンバーファイル[5]

Future Gadget Laboratory Member File

キャラクターたちの秘密に迫る連載企画 最終回は椎名まゆりと岡部倫太郎!

キャラクターのバックボーンや本作に収録されたシナリオの魅力プロデューサーの松原達也氏、ディレクターの梶岡俊彦氏、シナリオライターの林直孝氏の3名に聞いていく連載企画。今回は椎名まゆりと岡部倫太郎の2つめのシナリオをピックアップしよう。



「すぐには伝わらなくても、じっくりゆっくり好きだっている気持ち
を伝え続けていけば、いつか通じるんじゃないかな? メールでも
手紙でもなんでもいいから」



「まゆり、大丈夫か?」



そこで俺は十八番であるところの傘の構えを取って見せた。

[ラボメンナンバー 002] 椎名まゆり

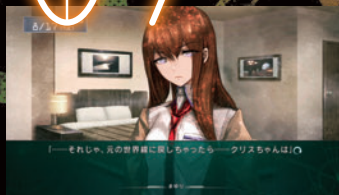
[ラボメンナンバー 001] 岡部倫太郎

キャラクターの魅力に迫っていく連載企画の最終回は、椎名まゆりの誕生秘話や物語での立ち位置に迫るとともに、主人公・岡部倫太郎に用意されたもう1つのシナリオの魅力についても紹介していく。なお、本連載のバックナンバーは電撃オンラインで配信しているので、これまでの記事を読み逃してしまった人はこちらもチェックしてほしい。

09

悠遠不変のポラリス

— 椎名まゆり Eternal Polaris



「それじゃ、元の世界線に戻したら……ポリスちゃんも」

▲自分のために紅莉栖が犠牲になることが許せないまゆり。そんな彼女がとった、驚きの行動とは……。



紅莉栖の運命を知ってしまったまゆり

岡部と紅莉栖の様子がおかしいと感じていたまゆり。彼女に意を決して「打ち明けてほしい」と迫られた紅莉栖は、岡部がまゆりを救うために紅莉栖が死ぬ世界線に飛ばなければならぬこと、自分が犠牲になる覚悟を決めたことを話す。それを聞いたまゆりは、ある決意を固めるのだった……。シナリオ：みかづき紅月

Actor's Voice

花澤香菜氏 Kana Hanazawa

まゆりを演じていくうちに、じつはまわりをちゃんと見ていて、常に誰かの支えになってあげている子なのだと感じました。今回は作家さんそれぞれのキャラクターの描き方があって、おもしろいなあと思いました。まゆりルートのみゆりは今まで演じていたまゆりよりも、もっと女の子の勘が鋭かったり。展開によって、さまざまな顔を見せてくれるので新鮮でした。

椎名まゆり MAYURI SHINA

岡部の幼なじみで、彼の“人質”を名乗る少女。性格はやや天然ボケだが、誰とでもわけ隔てなく接する心優しい性格の持ち主でもある。趣味はコスプレの衣装作り。

CREATOR
INTERVIEW

設計図という形で 送られてきたプロット案

— 続いて「三世因果のアブダクション」についてお聞かせください。岡部のシナリオは2つ収録されているんですね。

松原：はい。こちらのシナリオは打越鋼太郎さんが手掛けてくださったのですが、最初のプロットがテキストではなく、エクセルで作った設計図で送られてきたので驚きました(笑)。

林：世界線変動率4%の世界が舞台という、今までどこでも描いていなかったストーリーになります。この打越さんのストーリーを最も生かせる世界線はどこだろうと考えたとき、既存のものでは通用しないと思ったんです。

— このシナリオにはどのようなキャラクターが登場するのでしょうか。

梶岡：ラボメンは全員登場しますが、それ以外だと4℃(シド)が絡んできますね。

林：4℃は「走査線上のジキル」にも登場します。なぜか岡部とセットですね(笑)。

松原：そして、いつもひどい目にあう、というのが彼の役目なんです(笑)。

— 4℃が出るということは、コメディタッチのシナリオになっているのでしょうか?

林：そういうわけではないですね。ただ要素にメタ視点を取り入れた“打越節”の利いたセリフまわしが用意されているのがおもしろいです。梶岡：宮野さんはセリフを収録するときに、そこで悩んでいらっやいましたけど(笑)。

— 演じるうえで岡部らしさ、という部分です。どう解決されたのでしょうか?

梶岡：宮野さんとスタッフ全員でそのときの岡部の心情について話し合いつつ、解決していきました。

— 今回の「フェノグラム」ではシナリオの最初と最後に主人公・岡部の物語が収録されている形になっていますが、これは最初から決まっていたのでしょうか?

松原：いいえ、偶然ですね。「走査線上のジキル」を読んだときも「これを最初のシナリオに持ってくるしかない」と思ったのですが、このシナリオについても同じことが言えます。うまくハマってくれましたね。

林：このシナリオは単体としても完成度がすごく高いです。最初から最後まで完璧にシナリオが組まれているので、1度クリアしたあとに、ぜひもう1度プレイしてもらいたいですね。

松原：そうですね。難解なストーリーなのでじっくりと読んでみてください。

「今までの世界線では通用しないと思い、
このシナリオのために新たな世界線を用意しました」

「言葉の真意を読み取ることで このシナリオがいかにかわります」

CREATOR
INTERVIEW

まゆりが本来のペースで しゃべっているゲーム版

——まずは、作品全体における、まゆりの立ち位置からお聞かせください。

林: まゆりは「守ってあげたい存在」ですね。岡部の目線を通して物語を見ているプレイヤー自身が救いたくなる人物になるように気を付けました。

松原: 明るくぼわぼわした性格というのは初期の設定から変わらないですね。

——誰からも好かれるキャラクターを作るというのは大変だと思いますが、気を付けたことは？

林: 彼女の魅力は「否定をしない」ということです。オタク文化や岡部の厨二病、ダルの Hentai 発言にしても偏見を持っていないんですよ。

——彼女自身はコスプレ制作の趣味を持っていますね。

林: はい。とはいえ、自分で衣装を着るよりもほかの女の子に着せて観賞するのが好きなんですけどね。

——彼女の口癖である「トゥットゥル〜」はどのように生まれたのでしょうか？

林: 志倉（千代丸氏）が考えたものなので真相は不明です（笑）。ただ、このセリフをしょこたん（中川翔子さん）がブログでたまに使っているという話は聞いたことがありますね。

——今回のストーリーでは、今まで守られる立場だったまゆりの視点で物語が進行しますが、いったいどの

ような内容になっているのでしょうか？

林: 本編のチャプター10で、岡部が紅莉栖とまゆりのどちらを救うのかと苦悩しているシーンからの分岐になります。本編では岡部に守られる立場のまゆりですが、このシナリオでは彼女は彼女なりにしっかり物事を考えていることがわかる内容になっています。

松原: 守られる存在というのはどうしても一方通行というか、押しつけのようになってしまうと思うんです。まゆり自身もそう感じている部分があり、自分でなんとかしようとするんですね。

——岡部には相談できないと思うのですが、まゆりはこの悩みを誰かに打ち明けるのでしょうか？

林: 紅莉栖に話すことになります。

松原: 紅莉栖役の今井さんは、このまゆり編の会話が今回一番重かったとおっしゃっていましたね。

——どちらが死ぬかという相談を当人同士でするわけですからね……。まゆりを演じている花澤さんも、収録は大変だったのではないのでしょうか？

梶岡: 今まで長い間まゆりを演じてくださっているだけあって、とくに苦労したということはありませんでした。ただ、まゆりに関してはアニメ版とゲーム版でそれぞれテンポを変えてもらっているんですよ。アニメ版は尺に合わせる形で少し早口になっているので、ゲーム版が本来のまゆりのペースになります。「フェノグラム」の収録は、ちょうど劇場アニメの収録と同じ時期に重なってしまったため、その演じ分けが大変



だったかもしれませんね。

——シナリオのモノローグはどうでしょうか？

林: 普段のまゆりとそれほど変わらないですね。紅莉栖のように頭の中で難しいことを考えているわけでもないですし。

松原: 彼女なりに物事をしっかり考えているのに、そのおっとりした物言いのせいでうまく伝えられず、歯がゆい思いをしている様子がわかります。その感情の流れの部分に注目してもらいたいですね。

——まゆりの芯が強くて意見を譲らないという一面が描かれることになると思うのですが、紅莉栖とはどのような会話なされるのでしょうか？

林: 2人ともいかに相手を助けてあげられるかというのを考えているのですが、表面上は2人も普段どおりに明るく振舞っていますね。ケンカのようになることはないです。

——そんな状況なのに罵詈雑言ではなく優しい言葉をお互い投げかけるからこそ、逆につらい内容になりそうですね。

林: はい。それぞれの言葉の裏にある真意を読み取ることで、会話の重さがかかってもらえると思います。

3つの世界線で起きた出来事はやがて1つに収束する

ある日、まゆりの姿が見当たらず、連絡も付かなくなってしまう。そこで岡部は過去の自分にDメールを送り、まゆりが外出しないよう注意をうながすことに。世界線が変動し、まゆりの無事は確認できたが、今度は彼女の不注意によりラボでボヤ騒ぎが発生。岡部はそれを阻止するため、ふた

たびDメールを送る。世界線の変動で阻止に成功するも、今度はラボの床におびただしい血痕が……。最悪の事態を想定した岡部は、タイムリープすることを決意。しかし、そこで岡部は謎の黒マンツの男たちに襲われ、またしてもまゆりを見失ってしまい……。? シナリオ：打越鋼太郎



◀岡部を襲った黒マンツの男たち。彼らが今回の事件に関与しているようだが、もしやラウンダーの一員なのだろうか？ それとも？

▶各世界線で起きた出来事は何を意味しているのか？ そして、行方不明となったまゆりは無事なのだろうか……。



廊下へと飛び込むと、まゆりの手を引いて走る黒い影がはるか前方に見えた。?

三世因果のアブダクション

——岡部倫太郎 Three Contrapasso About The Abduction



「さあ、観念しろ、黒マンツ!!」

倫太郎



岡部倫太郎

RINTARO OKABE

秋葉原の雑居ビルで「未来ガジェット研究所」というサークルを立ち上げている大学生の青年。厨二病をわずらっており、痛々しい発言をする。

Three Contrapasso
About The Abduction